

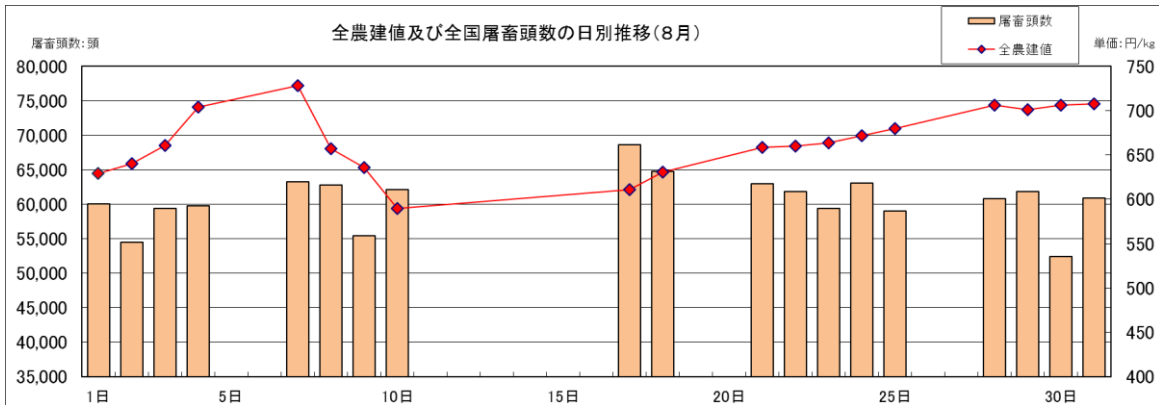
# 肉豚インフォメーション（8月）

## ● 8月の動向

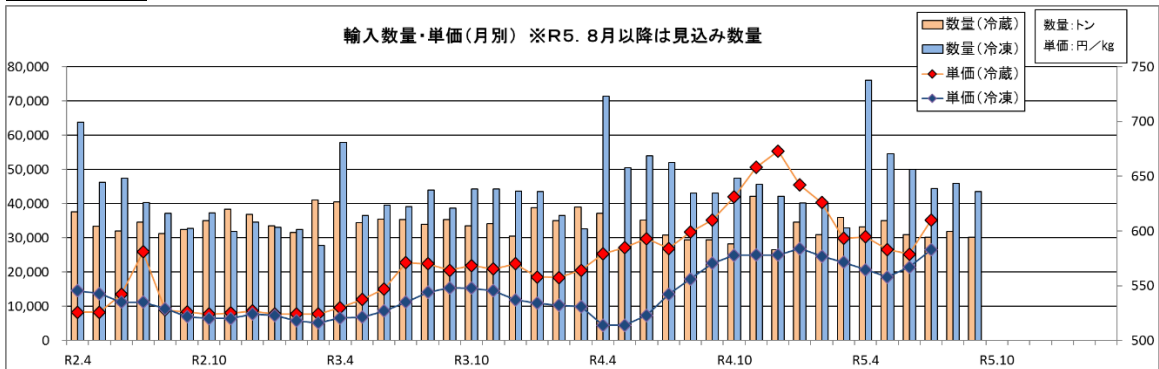
2023年8月（税抜）	2022年8月（税抜）
665円/kg（54円増）	611円/kg

※全農建値

8月は、物価高の影響もあり豚肉需要が高まっており、盆前の手当て買いで一時的に700円を超える高値で推移し、月末にかけて再び700円絡みの相場展開となった。

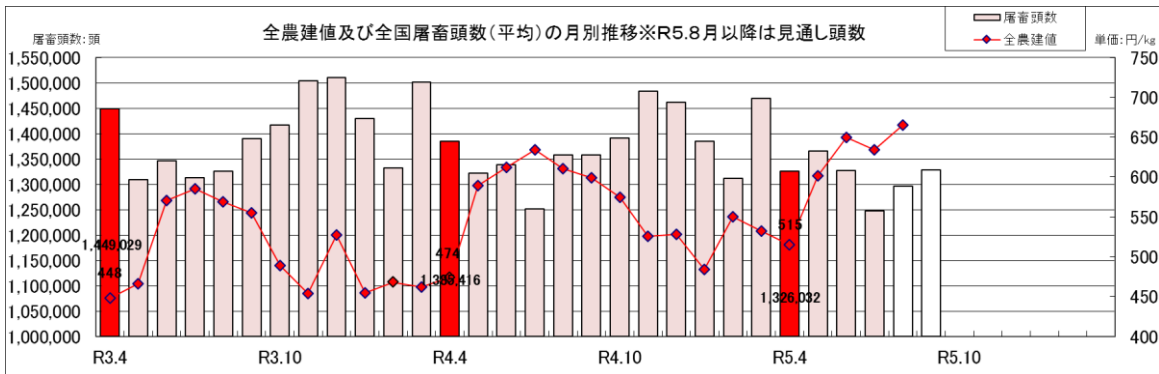


## ● 輸入動向



## ● 9月の動向

9月の出荷頭数は、前年同月をわずかに下回ると予測されている。



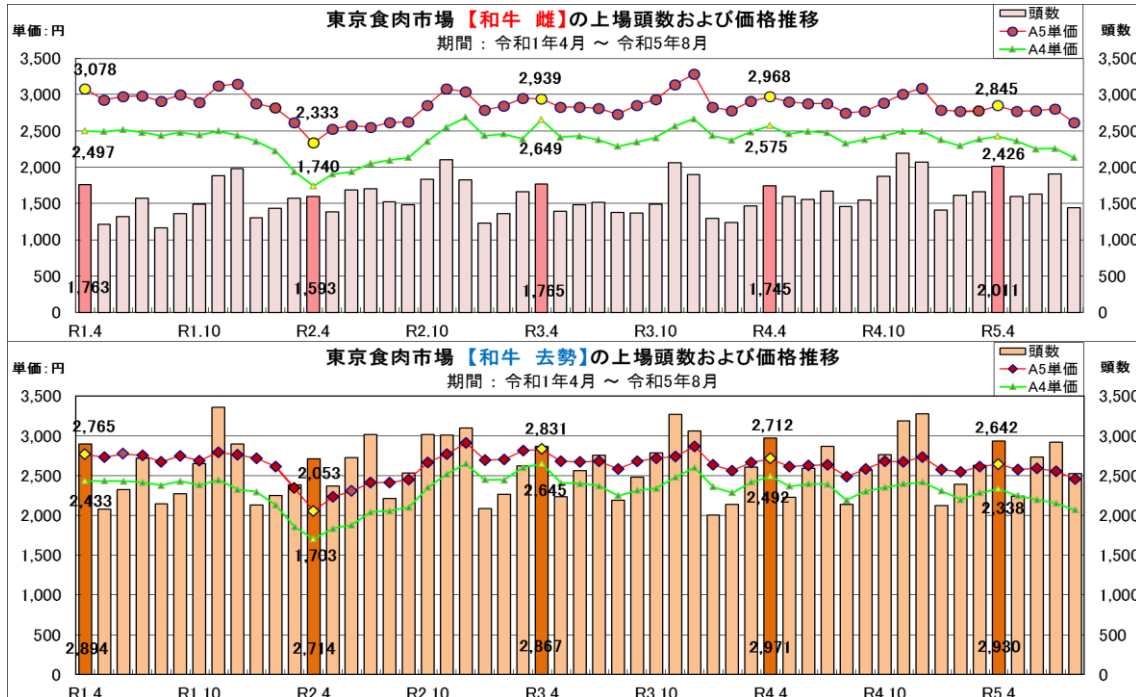
9月の相場は、堅調に維持する見通し。

全農建値（税抜）予測レンジは620円～700円とする。

# 肉牛インフォメーション（8月）

## ● 8月の動向

相場は8月に入っても上がらず7月より引き合いが弱まった。和牛、交雑牛ともに品質による価格差は拡大している。



## ● 9月の動向予測

9月の相場は、例年8月より高くなり年末に向け毎月徐々に上がっていく傾向にあるが、今年は上げ要素が乏しい。和牛は9月が底値となる見通し。

9月相場は「軟調」の展開と予想。

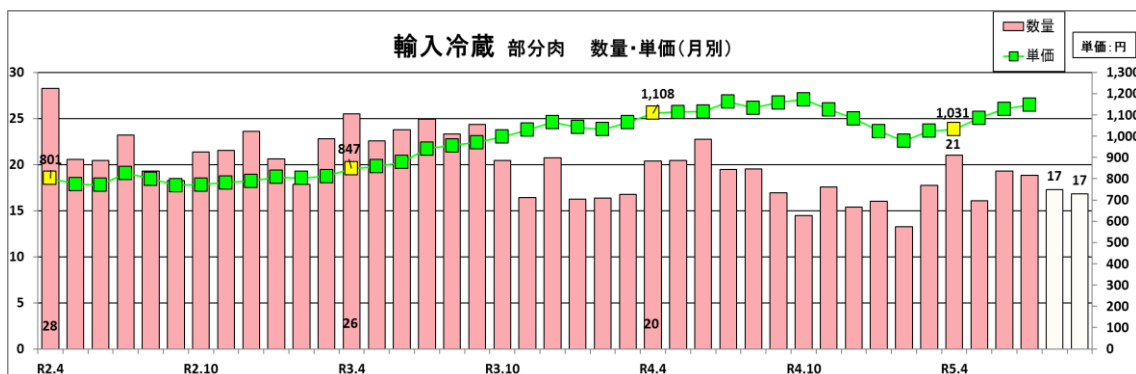
和牛去勢 A5等級 2,400円（税込み）      A4等級 2,000円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,600円（税込み）      B3等級 1,500円（税込み）

## ● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国内の需要低迷の他、米国産輸入量が現地価格の高騰もあり少なかったこと等から、8月はかなり大きく、9月はわずかに、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をやや下回ると予測する。

(ALIC 牛肉の需給予測について8月29日)



# 食肉インフォメーション (8月)

## ● 8月の動向

### ○牛肉

国内相場は引き続き安い状況が続いたが、各種食品価格や燃料費の価格上昇で消費者の節約志向が強く、単価の高い牛肉から豚・鶏肉に需要がシフトしており、夏場の需要が高いバラ系が例年と比べて不調で、その他の部位も苦戦の傾向となった。ロイン系のような高級部位は海外輸出の伸び悩みも加わって、特に厳しい販売環境となった

### ○豚肉

猛暑の影響から出荷頭数不足が続いて需給が締まったことで、盆休み以降も異例の高値相場となった。長引く猛暑や物価高で末端消費が例年以上に弱く、肩ロース・バラ等の焼肉用規格も苦戦となった。相対的に好調だったウデ・モモも学校給食の休みに伴い、販売が伸び悩んだ。

## ● 9月の動向予測

### ○牛肉

ロイン系等の高級部位は猛暑が落ち着く月後半の3連休以降、行楽・観光やインバウンド需要での回復に期待が掛かるが、物価高や社会情勢を鑑みると厳しい見通し。ウデやスネなど、比較的安価なスソ物の販売は堅調に推移すると予想される。

### ○豚肉

夏休み期間の出費の反動と学校給食の再開により、比較的安価なウデ・モモに需要が集まる見通し。また暑さが落ち着いてくる月後半にかけては、BBQ等の行楽需要の増加から、焼肉用の肩ロース・バラ等の販売も増加してくると予想される。

## ● 業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和5年7月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年度7月	11,550	16,221	4,922	37,321	13,516	13,203	10,410	107,143
令和4年度7月	9,750	16,954	4,154	29,679	19,098	12,253	7,117	99,005
令和5年度7月	10,280	13,414	4,266	29,444	18,720	9,995	5,866	91,985
増減 (R5-R4)	530	-3,540	112	-235	-378	-2,258	-1,251	-7,020
対比 (R3/R5)	89%	83%	87%	79%	139%	76%	56%	86%
対比 (R4/R5)	105%	79%	103%	99%	98%	82%	82%	93%